みぞくち

購読無料 毎月発行

記感激

は就労グループ、生活グル さんは初詣に行った。 人の恒例行事である。例年 プ1・2と別れて行って 今年は生活グ みぞくちの皆 日本

2~3名の引率で実施 者の皆さん2~3名を職員 数のグループとした。 ループ1の方はさらに少人 利用

計。 お昼ご飯も兼ねての 集団が小さいと小回り 初

> も効く。 たようだ。感激。 も、今回は店内で飲食でき なかなか入れなかった方 望もかなえ易い。 ご本 人の好みや希 飲食店に

たいと強く感じた。 プもしくはマンツーマンで実践できるよう、小グルー 嗜好や個性に合った活動が の活動の場を増やしてい 今後も、利用者ご本人

昔あそびから学ぶ

楽しむことこそ継続なり

なか皆さんうまくいかな ちょっと様子を覗うとなか 的ルームは何やら楽しげな事をしていると、隣の多目 昔遊びをしていた。コマ回 し・竹とんぼ・けん玉等々。 、。職員さんたちもてこず ,が聞こえる。 余暇活動で 1月20日、 ここは所長がお 所長が事務仕

手本をと、コマを回してひ とを思い出す。。 幼少の頃、必死になってコ ー」と歓声。思い起こせば よいっと手の上へ。「おお マ回しの練習をしてい 利用者の皆さんも熱心に

やはり練習が必要。 う簡単にはできない。 取り組んでみてはいるが、 そうそ

が今も腕に覚えとなっていやるはず。その努力の成果 とこなす方は多くいらっし 族の皆さんの中にも、 るのでしょう。 回しやけん玉をひょひょい コ

は楽しむことなのだと実感 りその努力を継続させるの 成果は努力の結晶、 た一時だった。 何よ

イブルエンボ

ちの利用者さん・職員に 年のワクチンは良く効い 気を取り戻している。今 各々5日程度の静養で元 もインフルエンザがやっ 県下の罹患者状況は7割 型・B型の三種類が中心。 今年のインフルエンザの 年毎年定期的にやってき ザだ。このウィルス、毎 はほぼいない。 患者にはひどい症状の方 ているらしく、B型の罹 てきたが、多くはB型。 がA型だそうだ。 顔ぶれは、 て休むことを知らない。 騒がすのがインフルエン しかし、 毎年この時期、 A型・A香港 巷では学級閉 みぞく 紙面 よう気配りは必要だ。

まで、他の人へうつさな たい。運悪くインフルエ ろん、事業所の中では毎 たい。また、日々の予防 流行には乗ることなく、 行を許さない。 日消毒。決して彼らの進 要。手洗・うがいはもち 予防に徹することが肝 が緩められない。何より 鎖が相次ぎ、まだまだ気 程度の静養で元気に戻る は仕方がないこと。5日 ンザにかかってしまう事 は必ず病院を訪ねて頂き に徹し、具合が悪い場合 元気に毎日を送って頂き ご家族の皆様方もこの

ちょっと一息

記事を書くことはそんなに 読ありがとうございます。 難しくはないんです。ただ、 みぞくちミニ新聞のご愛

にし続けたいと思っていま 変化に感動することを大切 いと記事として思い浮かん に気持ちを澄まし、小さな 毎日の出来事に感動できな できません。日々の移ろい